

都市構造から考察した福岡市とSDG_s（11の目標）の関係

～福岡市は住み続けられるまちなのか～

福岡大学大学院 山本航司

1. はじめに

福岡市には大勢の人が住み、たくさんの住居、商業施設、会社や公共施設が集まる都市であり、学校、交通や金融などの生活に欠かせない、さまざまな基盤がそろっている。また、福岡市は住みやすい街として注目されており、人口は図-1より年々増加傾向にあり、今後も増加していくと予想されている。一方、近年よく耳にするSDG_sという17の目標があり、なかでも11の目標「住み続けられるまちづくりを」が目標の一つとしてある。そこで、住みやすい街として人口が増加してしている福岡市は本当に住み続けられるまちなのか住宅地価や公共交通の利用状況から考察していこうと思う。

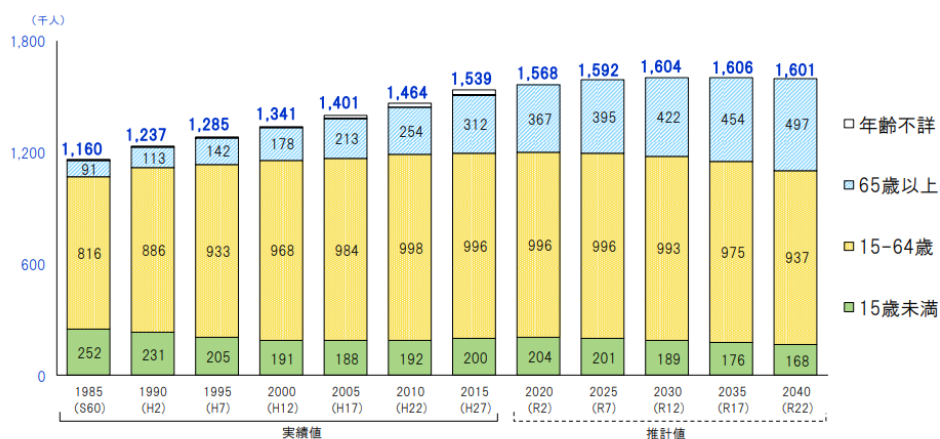


図-1 福岡市の人口推移と将来人口推計¹⁾

2. 安い値段で住むことができるまち

2-1 住宅地価の変化

目標11を構成する10個のターゲットの中に「2030年までに、すべての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。」とある。ここでは、住宅地価から福岡市が住み続けられるまちなのか考察する。そこで図-2に福岡市の地価の経年変化（住宅地）を示す。福岡市は年々地価が上がっており、地下鉄や西鉄、JR線沿いに地価が上がっていることが確認できる。特にここ20～30年で西新や天神近郊で地価が大きく上がっている。今後は地下鉄七隈線の延伸や天神ビックバンや博多コネクティットによるビル建て替えのために地価が上がり、都心部には安い値段で住むことができなくなっていくのではないかと考えられる。また、福岡市は図-1に示すように高齢者の割合が今後高くなっていくと予想しており、年金生活のお年寄りなどは都心に住むことができなくなっていくのではないかと考えられる。

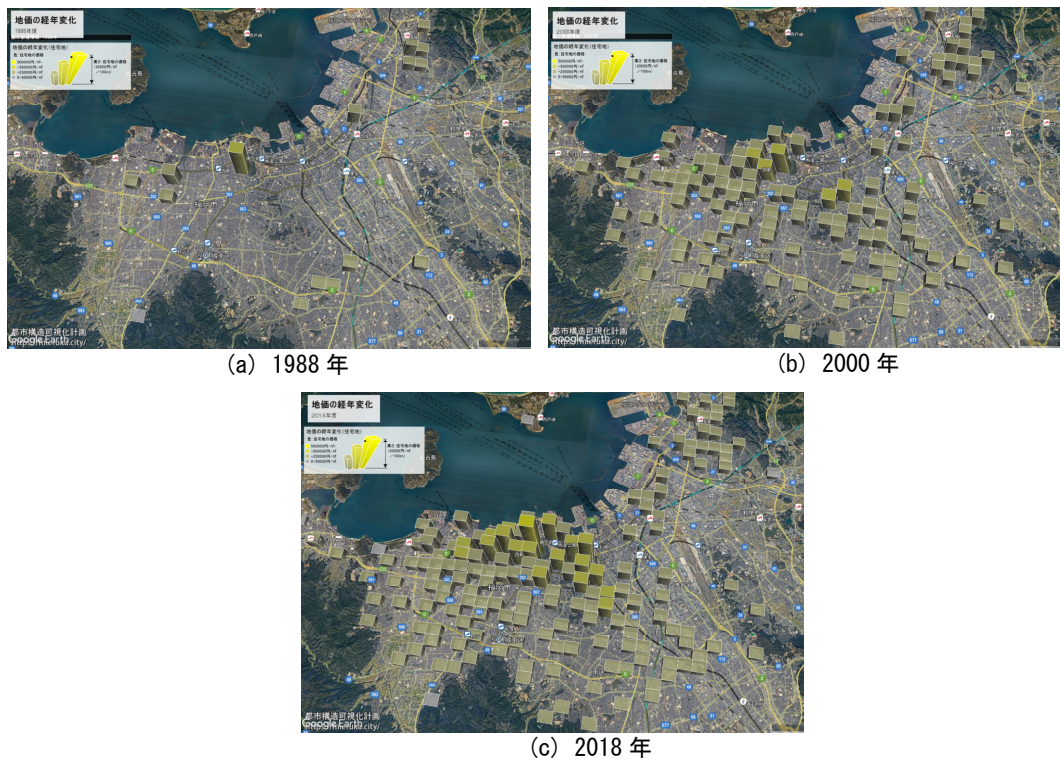


図-2 福岡市の地価の経年変化（住宅地）

2-2 人口分布の経年変化

2-1 で住宅地価の変化による住居場所の変化を述べた。ここでは人口分布の経年変化もふまえて考察を深める。図-3 に将来の人口分布の経年変化を示す。2022年現在は天神・博多の都心部や地下鉄、西鉄沿いに人口が集中しており、郊外には40%以上の65歳超えの高齢者の割合が高いことが分かる。一方2060年の予想では人口分布数はほとんど変化がないが、40%以上の65歳超えの高齢者の割合が郊外だけでなく、西鉄線上や天神・博多までバスで30～50分程度の南区に多く分布していることが確認できる。これは、現在地下鉄上で地価が上がっているために、天神・博多にバスで30～50分程度と比較的近い南区近辺が値段的にも好まれるのではないかと考察される。

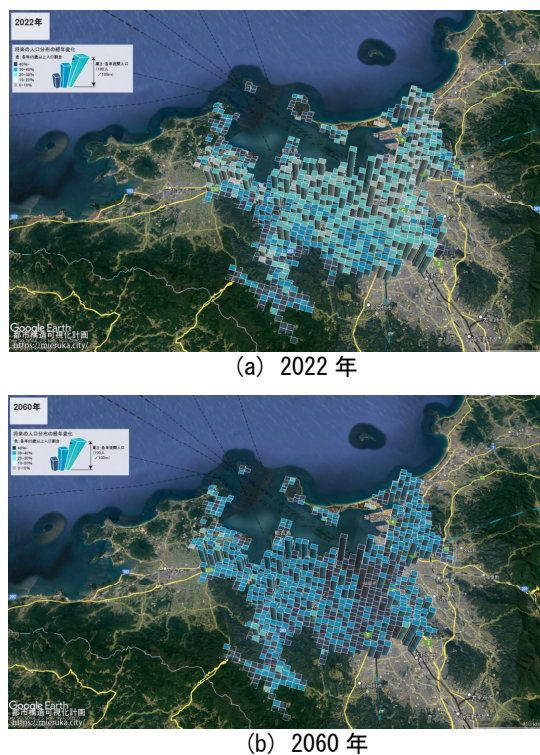


図-3 将来の人口分布の経年変化

3. 交通アクセスのよいまち

目標 11 を構成する 10 個のターゲットの中に「2030 年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。」とある。ここでは公共交通の利用状況から福岡市が住み続けられるまちなのか考察する。図-4 に公共交通圏と働く場所の関係を示す。働く場所の多くが天神や博多、地下鉄や西鉄、JR 線付近で働く場所が集中していることが確認できる。図-5 に公共交通利用圏と小売業販売額の関係を示す。天神や博多、大型のショッピングモールがある所を中心に小売業販売額が大きいことが確認できる。図-6 に公共交通圏と人口分布の関係を示す。地下鉄や西鉄、JR 線沿いは特に多くの人々が公共交通の利用し、地下鉄や西鉄、JR 線がない所ではバス等を利用していることが分かる。図-7 に公共交通利用圏と高齢者分布の関係を示す。多くの高齢者が公共交通を利用していることが確認できる。このことから、多くの人々が公共交通を利用し、働く場所や商業施設に行っていることが分かる。また、福岡市全域に公共交通が整備されており、多くの高齢者も気軽に利用できる環境があると考察される。

4. まとめ

今回、住宅地価や公共交通の利用状況から福岡市は SDG₅ の目標である「住み続けられるまち」なのか考察してきた。地下鉄や西鉄、JR 線沿いに地価が上がり、安い値段で住むことができない可能性がある一方で、地下鉄や西鉄、JR 線沿以外の離れた場所でもバス等を利用することで働く場所や商業施設など気軽に行くことができる環境があるため、福岡市は住み続けられるまちなのではないかと考える。

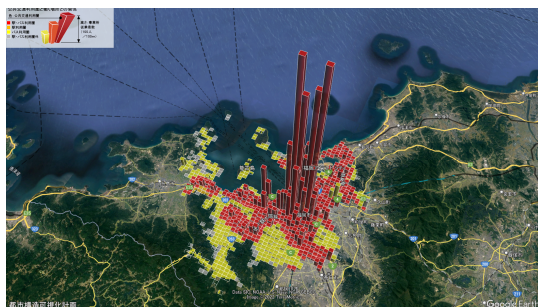


図-4 公共交通圏と働く場所の関係

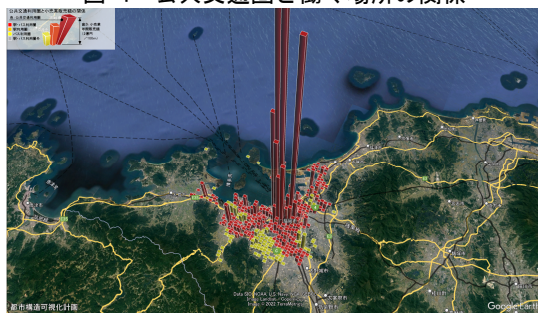


図-5 公共交通利用圏と小売業販売額の関係

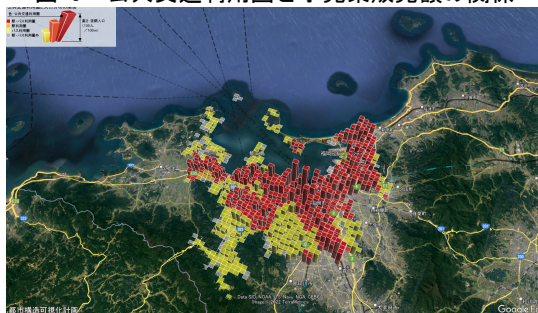


図-6 公共交通圏と人口分布の関係



図-7 公共交通利用圏と高齢者分布の関係

参考文献

1) 福岡市人口ビジョン,

https://www.city.fukuoka.lg.jp/data/open/cnt/3/74837/1/02_dai2ki_jinkoubijon_soan.pdf?20200617193548.

2) 都市構造可視化計画, <https://mieruka.city/>